

### 3 農業に係る各種対策等の推移

区 分	単 位	経 営 所 得 安 定 対 策 等	
		平 成 2 5 年 度	
(米、水田活用の直接支払交付金)			
支 払 面 積			
米 (10 a 控 除 前) (1)	ha		1) 1,135,609
麦 (2)	"		2) 165,295
大 豆 (3)	"		2) 103,327
飼料作物 (WCS用稲除く) (4)	"		2) 102,514
米 粉 用 米 (5)	"		2) 3,915
飼 料 用 米 (6)	"		2) 21,754
W C S 用 稲 (7)	"		2) 26,353
そ ば (8)	"		2) 37,130
な た ね (9)	"		2) 582
加 工 用 米 (10)	"		2) 37,341
(畑作物の直接支払交付金)			
支 払 数 量			
小 麦 (11)	t		779,589
二 条 大 麦 (12)	"		46,893
六 条 大 麦 (13)	"		45,862
は だ か 麦 (14)	"		13,808
大 豆 (15)	"		167,894
て ん 菜 (16)	"		3,434,734
でん粉原料用ばれいしょ (17)	"		762,795
そ ば (18)	"		30,218
な た ね (19)	"		1,497
支 払 金 額 (20)	億円		3) 5,396
(収入減少影響緩和交付金)			
加 入 件 数 (21)	件		4) 69,774
補 填 件 数 (22)	"		4) 1,234
補 填 額 (23)	億円		4) 2

※支払面積、支払数量及び支払金額(収入減少影響緩和交付金を除く)は平成26年6月27日公表値に基づく。加入件数、補填件数及び補填額(収入減少影響緩和交付金)は平成25年9月20日公表値に基づく。

#### 1 米の直接支払交付金及び米価変動補填交付金

区分	単価 (10 a 当たり)
米の直接支払交付金	15,000円 (標準的な生産に要する費用と標準的な販売価格の差額相当分の助成)
米価変動補填交付金 ※	0円(平成25年産実績) (米価変動に対応した助成)

※ 当年産の販売価格が標準的な販売価格を下回った場合、その差額を基に交付単価を算定。

#### 2 水田活用の直接支払交付金

作 物	単価 (10 a 当たり)
麦、大豆、飼料作物	35,000円
米粉用米、飼料用米、WCS用稲	80,000円
そば、なたね、加工用米	20,000円
二毛作助成(主食用米と戦略作物助成の対象作物、又は戦略作物助成の対象作物同士の組み合わせ)	15,000円
耕畜連携助成(耕畜連携の取組(わら利用、水田放牧、資源循環)に対する助成)	13,000円
産地資金(地域の実情に即して、戦略作物助成の対象作物の生産性向上、地域振興作物や備蓄米の生産の取組等を支援)	※都道府県又は地域農業再生協議会毎に助成内容を設定。

#### 3 畑作物の直接支払交付金

##### 【数量払】

対 象 作 物	平均交付単価
小麦	6,360円/60kg
二条大麦	5,330円/50kg
六条大麦	5,510円/50kg
はだか麦	7,620円/60kg
大豆	11,310円/60kg

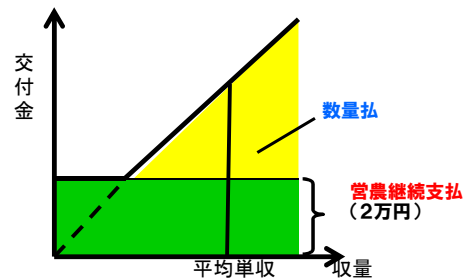
  

対 象 作 物	平均交付単価
てん菜	6,410円/㎡
でん粉原料用ばれいしょ	11,600円/㎡
そば	15,200円/45kg
なたね	8,470円/60kg

※ 小麦については、パン・中華種用品種を作付けた場合は、数量払に2,550円/60kgを加算。

##### 【面積払(営農継続支払)】

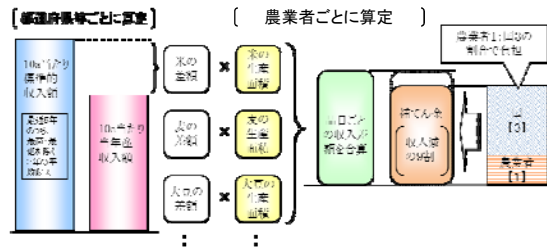
※前年産の生産面積に基づき交付(2万円/10a)。  
〈畑作物の直接支払交付金のイメージ〉



#### 交 付 金 等 価 (24)

#### 4 収入減少影響緩和交付金

米、麦、大豆、てん菜、でん粉原料用ばれいしょの当年産収入額の合計が、過去の平均収入である標準的収入額を下回った場合に、その差額の9割を、対策加入者と国が1対3の割合で拠出した積立金から補填。



資料：農林水産省政策統括官資料による。

- 注： 1)については、経営所得安定対策の交付対象面積は、主食用米の作付面積から自家消費等分として申請1件あたり一律10aを控除して算定される。  
2)については、「基幹作物」と「二毛作」の支払面積を合算した値である。  
3)については、米の直接支払交付金、水田活用の直接支払交付金、畑作物の直接支払交付金及び再生利用交付金を合算したもの。  
4)については、平成24年産における件数及び補填額である。

### 3 農業に係る各種対策等の推移（続き）

区 分	単 位	経 営 所 得 安 定 対 策 等	
		平 成 26 年 度	
支 払 面 積		(米、水田活用の直接支払交付金)	
米 (10 a 控 除 前) (1)	ha		1) 1,089,278
麦 (2)	"		2) 167,451
大 豆 (3)	"		2) 105,690
飼料作物 (WCS用稲除く) (4)	"		2) 101,736
WCS用稲 (5)	"		2) 30,669
米粉用米 (6)	"		2) 3,372
飼料用米 (7)	"		2) 33,885
加工用米 (8)	"		2) 48,051
そ ば (9)	"		2) 34,735
な た ね (10)	"		2) 497
支 払 数 量		(畑作物の直接支払交付金)	
小 麦 (11)	t		820,483
二 条 大 麦 (12)	"		49,189
六 条 大 麦 (13)	"		41,275
は だ か 麦 (14)	"		13,806
大 豆 (15)	"		200,634
て ん 菜 (16)	"		3,566,452
でん粉原料用ばれいしょ (17)	"		788,266
そ ば (18)	"		27,477
な た ね (19)	"		1,599
支 払 金 額 (20)	億円	3)	5,112
加 入 件 数 (21)	件	4)	67,073
補 填 件 数 (22)	"	4)	31,876
補 填 額 (23)	億円	4)	47

※支払面積、支払数量及び支払金額（収入減少影響緩和交付金を除く）は平成27年6月26日公表値に基づく。加入件数、補填件数及び補填額（収入減少影響緩和交付金）は平成26年9月26日公表値に基づく。

#### 1 米の直接支払交付金

交付単価 (10 a 当たり)	
7,500円	
(10a当たりの単価（全国一律）で直接交付。交付対象面積は、主食用米の作付面積から一律10a控除して算定)	

#### 3 畑作物の直接支払交付金

【数量払】※交付単価は品質に応じて増減。

対象作物	平均交付単価
小麦	6,320円/60kg
二条大麦	5,130円/50kg
六条大麦	5,490円/50kg
はだか麦	7,380円/60kg
大豆	11,660円/60kg

対象作物	平均交付単価
てん菜	7,260円/㍓
でん粉原料用ばれいしょ	12,840円/㍓
そば	13,030円/45kg
なたね	9,640円/60kg

注：1 小麦については、パン・中華種用品種を作付けた場合は、数量払に2,550円/60kgを加算。  
 2 てん菜の基準糖度は、16.3度。  
 3 でん粉原料用ばれいしょの基準でん粉含有率は、19.5%。

#### 2 水田活用の直接支払交付金

対象作物等	単価 (10 a 当たり)
麦、大豆、飼料作物	35,000円
WCS用稲	80,000円
加工用米	20,000円
飼料用米、米粉用米	収量に応じ、55,000円～105,000円
二毛作助成（主食用米と戦略作物助成の対象作物、又は戦略作物助成の対象作物同士の組み合わせ）	15,000円
耕畜連携助成（耕畜連携の取組（飼料用米のわら利用、水田放牧、資源循環）を支援）	13,000円
産地交付金（地域が策定する「水田フル活用ビジョン」に基づく、①水田における麦、大豆等の生産性向上等の取組、②地域振興作物や備蓄米の生産の取組等を支援）	※都道府県又は地域農業再生協議会毎に助成内容を設定。

#### 【面積払（営農継続支払）】

※前年度の生産面積に基づき交付  
 (2万円/10 a)  
 (そばについては1.3万円/10a)

(畑作物の直接支払交付金のイメージ)

#### 4 収入減少影響緩和交付金

米、麦、大豆、てん菜、でん粉原料用ばれいしょの当年度収入額の合計が、過去の平均収入である標準的収入額を下回った場合に、その差額の9割を、対策加入者と国が1対3の割合で拠出した積立金から補填。

【都道府県等ごとに算定】

10a当たり標準的収入額

10a当たりの当年度収入額

【農業者ごとに算定】

米の生産面積 × 米の単価

麦の生産面積 × 麦の単価

大豆の生産面積 × 大豆の単価

てん菜の生産面積 × てん菜の単価

大豆の生産面積 × 大豆の単価

収入額の合計

収入減少の影響額

収入減少の影響額の9割

国が1対3の割合で負担

資料：農林水産省政策統括官資料による。  
 注： 1)については、経営所得安定対策の交付対象面積は、主食用米の作付面積から自家消費等分として申請1件あたり一律10aを控除して算定される。  
 2)については、「基幹作物」と「二毛作」の支払面積を合算した値である。  
 3)については、米の直接支払交付金、水田活用の直接支払交付金、畑作物の直接支払交付金及び再生利用交付金を合算したもの。  
 4)については、平成25年産における件数及び補填額である。

### 3 農業に係る各種対策等の推移（続き）

区 分	単 位	経 営 所 得 安 定 対 策 等	
		平 成 27 年 度	
(米、水田活用の直接支払交付金)			
支 払 面 積			
米 (10 a 控 除 前) (1)	ha		1) 1,039,251
麦 (2)	"		2) 170,590
大 豆 (3)	"		2) 113,016
飼料作物 (WCS用稲除く) (4)	"		2) 103,234
WCS用稲 (5)	"		2) 37,860
米粉用米 (6)	"		2) 4,206
飼料用米 (7)	"		2) 79,467
加工用米 (8)	"		2) 46,157
そば (9)	"		2) 34,125
なたね (10)	"		585
(畑作物の直接支払交付金)			
支 払 数 量			
小 麦 (11)	t		968,333
二 条 大 麦 (12)	"		46,776
六 条 大 麦 (13)	"		45,772
は だ か 麦 (14)	"		10,554
大 豆 (15)	"		212,612
て ん 菜 (16)	"		3,709,206
でん粉原料用ばれいしょ (17)	"		779,815
そ ば (18)	"		28,649
な た ね (19)	"		2,942
支 払 金 額 (20)	億円	3)	5,876
(収入減少影響緩和交付金)			
加 入 件 数 (21)	件	4)	69,741
補 填 件 数 (22)	"	4)	58,375
補 填 額 (23)	億円	4)	516

※支払面積、支払数量及び支払金額（収入減少影響緩和交付金を除く）は平成28年7月19日公表値に基づく。加入件数、補填件数及び補填額（収入減少影響緩和交付金）は平成27年10月2日公表値に基づく。

#### 1 米の直接支払交付金

交付単価 (10 a 当たり)
7,500円 (10a当たりの単価（全国一律）で直接交付。交付対象面積は、主食用米の作付面積から一律10a控除して算定)

#### 3 畑作物の直接支払交付金

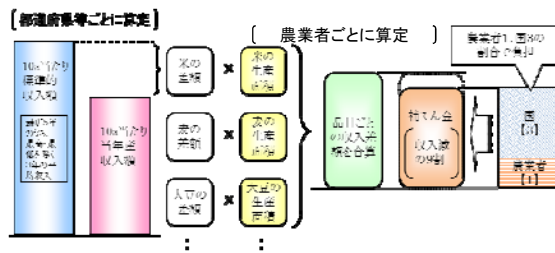
【数量払】※交付単価は品質に応じて増減。

対象作物	平均交付単価
小麦	6,320円/60kg
二条大麦	5,130円/50kg
六条大麦	5,490円/50kg
はだか麦	7,380円/60kg
大豆	11,660円/60kg
対象作物	平均交付単価
てん菜	7,260円/ト
でん粉原料用ばれいしょ	12,840円/ト
そば	13,030円/45kg
なたね	9,640円/60kg

注：1 小麦については、パン・中華種用品種を作付けた場合は、数量払に2,550円/60kgを加算。  
2 てん菜の基準糖度は、16.3度。  
3 でん粉原料用ばれいしょの基準でん粉含有率は、19.5%。

#### 4 収入減少影響緩和交付金

米、麦、大豆、てん菜、でん粉原料用ばれいしょの当年産収入額の合計が、過去の平均収入である標準的収入額を下回った場合に、その差額の9割を、対策加入者と国が1対3の割合で拠出した積立金から補填。



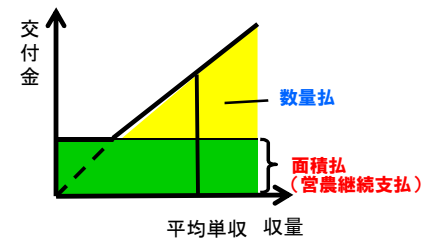
#### 2 水田活用の直接支払交付金

対象作物等	単価 (10 a 当たり)
麦、大豆、飼料作物	35,000円
WCS用稲	80,000円
加工用米	20,000円
飼料用米、米粉用米	収量に応じ、55,000円～105,000円
二毛作助成（主食用米と戦略作物助成の対象作物、又は戦略作物助成の対象作物同士の組み合わせ）	15,000円
耕畜連携助成（耕畜連携の取組（飼料用米のわら利用、水田放牧、資源循環）を支援）	13,000円
産地交付金（地域が策定する「水田フル活用ビジョン」に基づく、①水田における麦、大豆等の生産性向上等の取組、②地域振興作物や備蓄米の生産の取組等を支援）	※都道府県又は地域農業再生協議会毎に助成内容を設定。

#### 【面積払（営農継続支払）】

※当年産の生産面積に基づき交付  
(2万円/10a) (そばについては1.3万円/10a)

〈畑作物の直接支払交付金のイメージ〉



交 付 金 等 価 (24)

資料：農林水産省政策統括官資料による。

- 注：1)については、経営所得安定対策の交付対象面積は、主食用米の作付面積から自家消費等分として申請1件あたり一律10aを控除して算定される。  
2)については、「基幹作物」と「二毛作」の支払面積を合算した値である。  
3)については、米の直接支払交付金、水田活用の直接支払交付金及び畑作物の直接支払交付金を合算したものの。  
4)については、平成26年産における件数及び補填額である。

### 3 農業に係る各種対策等の推移（続き）

区 分	単 位	経 営 所 得 安 定 対 策 等	
		平 成 2 8 年 度	
支 払 面 積		(米、水田活用の直接支払交付金)	
米 (10 a 控 除 前) (1)	ha	1)	1,026,079
麦 (2)	"	2)	172,305
大 豆 (3)	"	2)	115,734
飼料作物 (WCS用稲除く) (4)	"	2)	104,943
WCS用稲 (5)	"	2)	41,106
米粉用米 (6)	"	2)	3,501
飼料用米 (7)	"	2)	90,764
加工用米 (8)	"	2)	49,981
そば (9)	"	2)	35,551
なたね (10)	"	2)	792
支 払 数 量		(畑作物の直接支払交付金)	
小 麦 (11)	t		753,676
二 条 大 麦 (12)	"		40,407
六 条 大 麦 (13)	"		43,551
は だ か 麦 (14)	"		9,172
大 豆 (15)	"		208,950
て ん 菜 (16)	"		3,188,278
でん粉原料用ばれいしょ (17)	"		660,163
そ ば (18)	"		24,301
な た ね (19)	"		3,465
支 払 金 額 (20)	億円	3)	5,629
加 入 件 数 (21)	件	(収入減少影響緩和交付金)	
補 填 件 数 (22)	"	4)	108,733
補 填 額 (23)	億円	4)	93,891
		4)	332

※支払面積、支払数量及び支払金額（収入減少影響緩和交付金を除く）は平成29年6月27日公表値に基づく。加入件数、補填件数及び補填額（収入減少影響緩和交付金）は平成28年11月1日公表値に基づく。

#### 1 米の直接支払交付金

交付単価 (10 a 当たり)	
7,500円	
(10a当たりの単価（全国一律）で直接交付。交付対象面積は、主食用米の作付面積から一律10a控除して算定)	

#### 3 畑作物の直接支払交付金

【数量払】※交付単価は品質に応じて増減。

対象作物	平均交付単価
小麦	6,320円/60kg
二条大麦	5,130円/50kg
六条大麦	5,490円/50kg
はだか麦	7,380円/60kg
大豆	11,660円/60kg

対象作物	平均交付単価
てん菜	7,260円/㍓
でん粉原料用ばれいしょ	12,840円/㍓
そば	13,030円/45kg
なたね	9,640円/60kg

注：1 小麦については、パン・中華用品種を作付けた場合は、数量払に2,550円/60kgを加算。  
 2 てん菜の基準糖度は、16.3度。  
 3 でん粉原料用ばれいしょの基準でん粉含有率は、19.5%。

#### 2 水田活用の直接支払交付金

対象作物等	単価 (10 a 当たり)
麦、大豆、飼料作物	35,000円
WCS用稲	80,000円
加工用米	20,000円
飼料用米、米粉用米	収量に応じ、55,000円～105,000円
二毛作助成（主食用米と戦略作物助成の対象作物、又は戦略作物助成の対象作物同士の組み合わせ）	15,000円
耕畜連携助成（耕畜連携の取組（飼料用米のわら利用、水田放牧、資源循環）を支援）	13,000円
産地交付金（地域が策定する「水田フル活用ビジョン」に基づく、①水田における麦、大豆等の生産性向上等の取組、②地域振興作物や備蓄米の生産の取組等を支援）	※都道府県又は地域農業再生協議会毎に助成内容を設定。

#### 【面積払（営農継続支払）】

※当年産の生産面積に基づき交付  
 (2万円/10a) (そばについては1.3万円/10a)

〈畑作物の直接支払交付金のイメージ〉

#### 4 収入減少影響緩和交付金

【都道府県等ごとに算定】

米、麦、大豆、てん菜、でん粉原料用ばれいしょの当年産収入額の合計が、過去の平均収入である標準的収入額を下回った場合に、その差額の9割を、対策加入者と国が1対3の割合で拠出した積立金から補填。

資料：農林水産省政策統括官資料による。  
 注： 1)については、経営所得安定対策の交付対象面積は、主食用米の作付面積から自家消費等分として申請1件あたり一律10aを控除して算定される。  
 2)については、「基幹作物」と「二毛作」の支払面積を合算した値である。  
 3)については、米の直接支払交付金、水田活用の直接支払交付金及び畑作物の直接支払交付金を合算したものの。  
 4)については、平成27年産における件数及び補填額である。

区 分	単 位	経 営 所 得 安 定 対 策 等	
		平 成 29 年 度	
(米、水田活用の直接支払交付金)			
支 払 面 積			
米 (10 a 控 除 前) (1)	ha		1) 1,018,344
麦 (2)	"		2) 98,173
大 豆 (3)	"		2) 88,638
飼料作物 (WCS用稲除く) (4)	"		2) 72,424
WCS用稲 (5)	"		2) 42,340
米粉用米 (6)	"		2) 5,271
飼料用米 (7)	"		2) 91,009
加工用米 (8)	"		2) 48,684
そば (9)	"		2) 26,155
なたね (10)	"		2) 727
(畑作物の直接支払交付金)			
支 払 数 量			
小 麦 (11)	t		871,330
二 条 大 麦 (12)	"		51,420
六 条 大 麦 (13)	"		44,410
は だ か 麦 (14)	"		11,786
大 豆 (15)	"		222,679
て ん 菜 (16)	"		3,775,823
でん粉原料用ばれいしょ (17)	"		717,595
そ ば (18)	"		29,174
な た ね (19)	"		3,484
支 払 金 額 (20)	億円	3)	5,831
(収入減少影響緩和交付金)			
加 入 件 数 (21)	件	4)	106,991
補 填 件 数 (22)	"	4)	57,064
補 填 額 (23)	億円	4)	179
※支払面積、支払数量及び支払金額(収入減少影響緩和交付金を除く)は平成30年6月29日公表値に基づく。加入件数、補填件数及び補填額(収入減少影響緩和交付金)は平成29年9月29日公表値に基づく。			

### 1 米の直接支払交付金

交付単価 (10 a 当たり)	
7,500円	
(10a当たりの単価(全国一律)で直接交付。交付対象面積は、主食用米の作付面積から一律10a控除して算定)	

### 2 水田活用の直接支払交付金

対象作物等	単価 (10 a 当たり)
麦、大豆、飼料作物	35,000円
WCS用稲	80,000円
加工用米	20,000円
飼料用米、米粉用米	収量に応じ、55,000円～105,000円

産地交付金(地域が策定する「水田フル活用ビジョン」に基づく、二毛作や耕畜連携を含め、産地づくりにむけた取組を支援)

※都道府県又は地域農業再生協議会毎に助成内容を設定。

### 3 畑作物の直接支払交付金

【数量払】※交付単価は品質に応じて増減。

対象作物	平均交付単価
小麦	6,890円/60kg
二条大麦	5,460円/50kg
六条大麦	5,690円/50kg
はだか麦	8,190円/60kg
大豆	9,040円/60kg

対象作物	平均交付単価
てん菜	7,180円/㍓
でん粉原料用ばれいしょ	11,610円/㍓
そば	16,840円/45kg
なたね	9,920円/60kg

注：1 小麦については、パン・中華種用品種を作付けた場合は、数量払に2,300円/60kgを加算。  
2 てん菜の基準糖度は、16.3度。  
3 でん粉原料用ばれいしょの基準でん粉含有率は、19.5%。

### 4 収入減少影響緩和交付金

米、麦、大豆、てん菜、でん粉原料用ばれいしょの当年産収入額の合計が、過去の平均収入である標準的収入額を下回った場合に、その差額の9割を、対策加入者と国が1対3の割合で拠出した積立金から補填。

【標準的収入額】

10a当りの標準的収入額

10a当りの当年産収入額

【収入減少影響緩和交付金のイメージ】

収入減少額 × 9割 = 交付金

収入減少額 × 1割 = 国が負担

収入減少額 × 3割 = 加入者が負担

資料：農林水産省政策統括官資料による。

注：1)については、経営所得安定対策の交付対象面積は、主食用米の作付面積から自家消費等分として申請1件あたり一律10aを控除して算定される。

2)については、「基幹作物」のみの支払面積の値である。

3)については、米の直接支払交付金、水田活用の直接支払交付金及び畑作物の直接支払交付金を合算したものの。

4)については、平成28年産における件数及び補填額である。